

# G I N K O K I S H I D A 岸田吟香

日時 平成28年8月4日(木)午後2時~4時30分(予定)

場所 山陽新聞社 さん太ホール (Tel 086-803-8222)

**入場無料**

初めて  
ジャーナリストと  
呼ばれた男



豊田市郷土資料館館長  
**森 泰通**

「傑人 岸田吟香、  
美作より現る」



早稲田大学政治経済学術院教授  
**土屋礼子**

「アジアの中の岸田吟香-  
混沌の時代を走り抜けた  
メディア人」



岡山県立美術館顧問  
**鍵岡正謹**

「描き、描かれた吟香」

目薬の引札 (横浜開港資料館蔵)



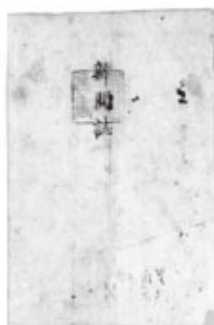


和英辞書『和英語林集成』  
(豊田市郷土資料館蔵)

美作・久米北条郡(現美咲町)に生まれた岸田吟香(1833~1905)。江戸で学び三河拳母藩に仕えたものの、階級に縛られる武士を嫌って脱藩。目の治療に通った横浜の医師へボンの下で、アメリカには新聞があることを知り、我が国初の民間新聞『新聞紙』を創刊した。日本初の従軍記者として台湾出兵にも同行。「新聞は国家の耳目なり」と説いた。

吟香が先鞭をつけた事柄は、和英辞典の刊行、液体目薬の製造販売、巧みな広告戦略、石油の掘削、定期船航路、盲啞学校、日中交流など枚挙にいとまがない。因みに吟香の芸術的才能は、「麗子像」などで知られる四男・画家の劉生らに受け継がれている。

シンポジウムでは、岸田吟香研究の第一人者・豊田市郷土資料館の森 泰通館長、メディア史・歴史社会学が専門の早稲田大学・土屋礼子教授、デザイン・広告にも造詣の深い岡山県立美術館の鍵岡正謹顧問を招き、常に庶民の目線で物事を見つめた吟香の波乱万丈の生涯とその根底にあった「ままよ」の心意気を読み解く。



① わが国初の民間新聞



② 横濱新報もしほ草



③ 石油採掘請負願書



④ 液体目薬「精銚水」



⑤ 楽善堂三葉引札(広告)

所蔵：①早稲田大学図書館 ② 豊田市郷土資料館 ③ 早稲田大学図書館 ④ ボトルシニアター ⑤ 横浜開港資料館

出演者  
プロフィール

### 森 泰通 (もりやすみち)

愛知県生まれ。日本考古学の研究の傍ら、岸田吟香の調査・研究も継続。2013年「特別展『明治の傑人 岸田吟香』」を開催。「吟香の応援団長」を自認。そのPRのため各地を飛び回る。著書に『明治の傑人 岸田吟香』など。

### 土屋礼子 (つちやれいこ)

長野県生まれ。専門はメディア史、歴史社会学。20世紀メディア研究所長も務める。主な著・訳書に、『大阪の錦絵新聞』、『近代日本メディア人物誌創始者・経営者編』、スウィーニー『米国のメディアと戦時検閲』など。

### 鍵岡正謹 (かぎおかまさのり)

奈良県生まれ。高知県立美術館館長、岡山県立美術館館長を歴任。2013年岡山県立美術館にて「岸田吟香・劉生・麗子展」を開催した。著書に『山脇信徳-日本のモネと呼ばれた男』、『絵金と幕末土佐歴史散歩』など。

ご希望の方には「優待席」をご用意します。  
この用紙のままFaxでお申し込みください。

**6月30日(木) 締切**

お名前(企業名) \_\_\_\_\_

〒 \_\_\_\_\_

ご住所 \_\_\_\_\_

申込人数 \_\_\_\_\_ ※2名までとさせていただきます。

ご連絡先(電話など) \_\_\_\_\_

**fax 086-225-5046**

優待席お申込は、ハガキ、e-mailでも受け付けます。

- ◆ e-mail nichiran@rsk.co.jp
- ◆ ハガキ宛先 〒700-8580 山陽放送内(公財)山陽放送学術文化財団
- ◆ 申し込みは1枚(1回)につき2人迄となります。(複数応募不可)

**希望者多数の場合は抽選とさせていただきます。**

「優待席のご案内」はハガキでお知らせします。

### 出版のお知らせ

歴史のダイナミズムがここに!

オイネ(楠本いね)、宇田川榕菴、緒方洪庵。

先人のあくなき探究心とその姿、今後の研究課題が浮き彫りに! 貴重な資料と写真が満載。読みやすい蘭学読本。



2016年4月刊行

**「岡山蘭学の群像1」** A5判

定価: 本体 1400円 + 税

発行: 公益財団法人 山陽放送学術文化財団 発売: 吉備人出版

**お求めは、お近くの書店で!**

お問い合わせは 公益財団法人 山陽放送学術文化財団《tel 086-225-5531》

今回は

第6回「オランダ技術で海を割った男 杉山岩三郎」

平成28年11月25日(金)  
山陽新聞社さん太ホール